

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	JA佐野農業まつり支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	農政課	JA佐野農業まつり支援事業		款	6	新規or継続	継続事業
	係	農政係			項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	1221	名称	なし	目	2	義務or任意	任意的事業
	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり		事業期間	開始年度	S57	実施方法
	政策	2	地域資源を活かしたまちづくり		期間	終了年度		事業分類
	施策	2	都市型農業の推進					支援事業
	基本事業	1	農産物の生産振興					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	佐野市における農業の振興と農畜産物の自給安定を図るため、農業まつりを通じ農業生産意欲の向上・生産組織の強化と併せて商工業との連携、生産者と消費者との交流を深めることを目的とする
------	--

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい 状態)	生産者、生産団体と消費者との交流を深める。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		まつりの来場者数	人	-	-	-	35,000	35,000

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R6年度に 行った主な活 動内容)	・JA佐野農業まつり実行委員会への補助 第19回JA佐野農業まつり開催内容 日時：令和6年11月9日（土）、11日（日） 午前9時～午後3時 会場：JA佐野総合施設（飯田町331） 主催：JA佐野農業まつり実行委員会、佐野農業協同組合 協賛：佐野市 内容：農作物即売会、抽選会、食のワゴン等	活動指標	単位	R4	R5	R6		
		実行委員会出席回数	回	-	-	-	1	
		反省会出席回数	回	-	-	-	1	
		補助した団体数	団体	-	-	-	1	
		事業費計	千円	0	0	300		
		一般財源	千円	0	0	300		
		特定財源（国・県・他）	千円	0	0	0		
		（うち受益者負担）	千円	0	0	0		

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び 定性)	生産者、生産団体と消費者との交流を深め、佐野市の農作物について理解を深めてもらう。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		まつりの来場者数	人	-	-	15,000	値が大きいほど良い	#VALUE!

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	効果（R6とR5の指標値増減）	費用が増加した	※10万円以上の増減により判断	効果			費用が上がった 費用は変わらない 費用が下がった
		0指標		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
		0指標					
		0指標					
		効果は変わらない					○

4. 次年度に向けた検討

（1）令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

特になし

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

<input type="checkbox"/> 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） <input type="checkbox"/> 事業効果を上げるための事務改善の検討 <input type="checkbox"/> 事業費の見直し検討 <input type="checkbox"/> 業務時間効率化のための事務改善の検討 <input checked="" type="checkbox"/> 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明	現状維持

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	とちぎ渡良瀬いちご・フルーツ街道推進協議会参画事業		実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
			施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	農政課	とちぎ渡良瀬いちご・フルーツ街道推進協議会参画事業		款	6	新規or継続	継続事業
	係	農政係			項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	1221	名称	とちぎ渡良瀬いちご・フルーツ街道推進協議会規約	目	3	義務or任意	任意的事業
	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり		事業期間	開始年度	H20	実施方法
	政策	2	地域資源を活かしたまちづくり			終了年度		直営
	施策	2	都市型農業の推進					事業分類
	基本事業	1	農産物の生産振興					参画事業

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	食をテーマとした新たな地域資源を発掘し、文化や景観など結び付けて栃木県のブランド化を図り、全国に発信するため、農産物や観光等の様々な産業分野の視点を活かして「食の街道」づくりの推進を目的とした協議会へ負担金を支出し、各種会議・研修会に参加し、地域活性化に取組んでいる。
------	--

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい 状態)	とちぎ渡良瀬いちご・フルーツ街道推進協議会の活動を通して、農産物を活用した本市のイメージアップ、地域の活性化を推進する。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		参加団体数	団体	36	36	36	36	36
		会議等の参加者数	人	22	24	20	20	20
		ガイドマップ等の発行部数	部	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000
		施設園芸取扱量	t	1,430	1,420	1,425	1,430	1,435

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R6年度に 行った主な活 動内容)	(市の活動) とちぎ渡良瀬いちご・フルーツ街道推進協議会に負担金の支出、会 議出席を 行った。 (とちぎ渡良瀬いちご・フルーツ街道推進協議会の活動) 会議や研修会、情報誌作成事業を行い、地域活性 パンフレット、 情報誌の作成、各種PR事業など。	活動指標	単位	R4	R5	R6		
		会議等の開催	回	2	5	3		
		ガイドマップ等の発行	回	2	0	1		
		事業費計	千円	100	100	100		
		一般財源	千円	100	100	100		
		特定財源（国・県・他）	千円	0	0	0		
		（うち受益者負担）	千円	0	0	0		

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

↓選択して下さい

効果説明 (定量及び 定性)	施設園芸農家、果樹栽培農家が安定した経営ができている。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		参加団体数	団体	36	35	34	値が大きいほど良い	効果が下がった
		会議等の参加者数	人	22	29	27	値が大きいほど良い	効果が下がった
		ガイドマップ等の発行部数	部	25,000	10,000	15,000	値が大きいほど良い	効果が上がった
		施設園芸取扱量	t	1,206	1,216	1,241	値が大きいほど良い	効果が上がった

（3）活動による効果

（4）事業効果を説明する数値データの推移

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用の増減無し	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		参加団体数	団体	36	35	34	値が大きいほど良い	効果が下がった
		会議等の参加者数	人	22	29	27	値が大きいほど良い	効果が下がった
		ガイドマップ等の発行部数	部	25,000	10,000	15,000	値が大きいほど良い	効果が上がった
		施設園芸取扱量	t	1,206	1,216	1,241	値が大きいほど良い	効果が上がった

（5）費用対効果結果（自動判定）

効果 (R6とR5の 指標値増減)	効果は変わらない指標数 2指標	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		参加団体数	団体	36	35	34	値が大きいほど良い	効果が下がった
		会議等の参加者数	人	22	29	27	値が大きいほど良い	効果が下がった
		ガイドマップ等の発行部数	部	25,000	10,000	15,000	値が大きいほど良い	効果が上がった
		施設園芸取扱量	t	1,206	1,216	1,241	値が大きいほど良い	効果が上がった

4. 次年度に向けた検討

（1）令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

特になし

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

費用 （R6とR5の 指標値増減）	効果は変わらない 2指標	取組説明	
		現状維持	

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	佐野市園芸振興協議会運営支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部	予算中事業名	予算 科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	農政課	佐野市園芸振興協議会運営支援事業		款	6	新規or継続	継続事業
	係	農政係	根拠法令、条例等		項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	1221	名称	事業 期間	目	3	義務or任意	任意的事業
	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり		開始年度	H 2	実施方法	直営
	政策	2	地域資源を活かしたまちづくり		終了年度		事業分類	支援事業
	施策	2	都市型農業の推進					
	基本事業	1	農産物の生産振興					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	佐野市園芸振興協議会が実施する調査・研究、視察、PR活動等の各事業を支援し、園芸生産農家の資質向上及び園芸産地としての振興を図る。
------	---

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい 状態)	JA佐野果樹部会員（果樹生産農家）が減農薬栽培による品質の向上、安定生産、農作業の省力化を図る。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		加入する部会数	団体	9	9	9	9	9
		部会の会員数	人	261	261	261	261	261
		農業用廃ビニールの回収処理量	t	83	83	83	83	83
		研修会参加数	人	20	20	20	20	20
		施設園芸取扱量	t	1,430	1,420	1,425	1,430	1,435

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R6年度に 行った主な活 動内容)	(市の活動) 補助金の交付手続きを行い、補助金を交付した。 (協議会の活動) 総会、農業用廃ビニール回収処理、PR事業、視察研修等を行 った。	活動指標	単位	R4	R5	R6		
		農業用廃ビニール処理対策	回	2	2	2		
		研修会・視察等回数	回	0	1	0		
		PR事業数	回	2	1	2		
		事業費計	千円	150	150	150		
		一般財源	千円	150	150	150		
		特定財源（国・県・他）	千円	0	0	0		
		（うち受益者負担）	千円	0	0	0		

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び 定性)	施設園芸農家、果樹栽培農家が安定した経営ができている。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		加入する部会数	団体	9	9	10	値が大きいほど良い	効果が上がった
		部会の会員数	人	261	245	294	値が大きいほど良い	効果が上がった
		農業用廃ビニールの回収処理量	t	81	66	58	値が大きいほど良い	効果が下がった
		研修会参加数	人	0	15	0	値が大きいほど良い	効果が下がった
		施設園芸取扱量	t	1,206	1,216	1,241	値が大きいほど良い	効果が上がった

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用の増減無し
効果（R6とR5の 指標値増減）	効果が上がった指標数
	3指標
	効果は変わらない指標数
	0指標
	効果が下がった指標数
	2指標
	指標全体
	効果が上がった

※ 10万円以上の増減により判断

費用	効果		
	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	費用は下がった		
	費用の増減無し	○	
	費用が増加した		

4. 次年度に向けた検討

（1）令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

特になし

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

取組説明
現状維持

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	佐野市畜産振興協議会支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部	予算中事業名	予算 科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	農政課	佐野市畜産振興協議会		款	6	新規or継続	継続事業
	係	農政係	支援事業		項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	1221	名称		目	4	義務or任意	任意的事業
	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり		事業	開始年度	S49	実施方法
	政策	2	地域資源を活かしたまちづくり		期間	終了年度		直営
	施策	2	都市型農業の推進				事業分類	支援事業
	基本事業	1	農産物の生産振興					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	佐野市畜産振興協議会の家畜防疫の強化、家畜衛生管理の徹底生産技術の向上及び経営の安定化を図る各種事業を支援し、本市畜産業の振興を推進する。
------	---

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい 状態)	家畜伝染病の発生を予防する。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		伝染病の発生件数	件	0	0	0	0	0
		畜産公害の発生件数	件	0	0	0	0	0

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R6年度に 行った主な活 動内容)	(市の活動) 畜産振興協議会の事務局としての事務、補助金の交付事務を行った。 (協議会の活動) 畜産業の振興のため、伝染病予防対策や防疫事業の推進、渡良瀬河川敷を活用した採草地育成事業、共励会の実施を行った。	活動指標	単位	R4	R5	R6		
		研修会・共励会の開催回数	回	2	2	2		
		消毒や害虫駆除の実施個所数	箇所	10	10	10		
		伝染病検査や予防接種の数	箇所	1	1	1		
		事業費計	千円	500	500	500		
		一般財源	千円	500	500	500		
		特定財源（国・県・他）	千円	0	0	0		
		（うち受益者負担）	千円	0	0	0		

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び 定性)	目標値を維持している。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		伝染病の発生件数	件	0	0	0	値が小さいほど良い	効果は変わらない
		畜産公害の発生件数	件	0	0	0	値が小さいほど良い	効果は変わらない

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用の増減無し	※ 10万円以上の増減により判断	効果			
			効果が上がった指標数	効果が変わらない指標数	効果が下がった指標数	効果が上がった
			0指標	2指標	0指標	効果は変わらない

費用	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	費用は下がった		
	費用の増減無し	○	

4. 次年度に向けた検討

（1）令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

目標値を維持できていることから、取組みは効果的である。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

取組説明	現状維持	

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	佐野市認定農業者協議会支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部	予算中事業名	予算 科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	農政課	佐野市認定農業者協議会		款	6	新規or継続	継続事業
	係	農政係	支援事業		項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	1221	名称	根拠法令、条例等	目	2	義務or任意	任意的事業
	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり		事業 期間	開始年度	H12年度	実施方法
	政策	2	地域資源を活かしたまちづくり			終了年度		直営
	施策	2	都市型農業の推進					事業分類
	基本事業	1	農産物の生産振興					支援事業

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	認定農業者協議会は、農業経営基盤促進法に基づく認定農業者で組織しており、農業の実践的リーダーとして地域社会の維持発展、農業経営の改善や記述の高度化に務めることを目的としている認定農業者協議会の活動を支援している。
------	--

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい 状態)	研修会を通して、農業リーダーとして地域農業の維持・発展に務める。農業経営の改善や農業技術の高度化を実践する。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		研修会の参加人数	人	0	0	40	40	40

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R6年度に 行った主な活 動内容)	(佐野市認定農業者協議会の活動) 総会（5/5）※書面決議 役員会（4/26,5/28,8/9,3/10） 視察研修（10/11）農業week ・認定農業者数(R7.3.31現在) 240経営体(個人201名 法人39団体) ・認定農業者協議会会員数（R7.3.31現在） 119経営体（個人102 法人17）	活動指標	単位	R4	R5	R6		
		研修会の開催回数	回	0	1	1		
		事業費計	千円	0	120	120		
		一般財源	千円	0	120	120		
		特定財源（国・県・他）	千円	0	0	0		
		(うち受益者負担)	千円	0	0	0		

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び 定性)	認定農業者としての自覚と意欲を持ち、地域社会の維持発展と安定の寄与とともに、農業の実践的リーダーとして農業経営の改善と高度化に努め、併せて会員相互の交流を図る。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		研修会の参加人数	人	0	17	17	値が大きいほど良い	効果は変わらない

（4）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用の増減無し	効果指標	単位	R4	R5	R6		
		研修会の参加人数	人	0	17	17	値が大きいほど良い	効果は変わらない

（5）費用対効果結果（自動判定）

効果 (R6とR5の 指標値増減)	効果は上がった指標数 効果は変わらない指標数 効果が下がった指標数 指標全体	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		研修会の参加人数	人	0	17	17	値が大きいほど良い	効果は変わらない

4. 次年度に向けた検討

（1）令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

認定農業者協議会への加入率が他市に比べて低いため、加入促進を図る必要がある。
--

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

取組説明	協議会の利点などをPRすると共に、役員等の負担軽減を図る。		
	費用が増加した	費用は増減無し	費用は下がった

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	佐野市農業再生協議会参画事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	農政課	佐野市農業再生協議会参画事業		款	6	新規or継続	継続事業
	係	農政係			項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	1221	名称	事業期間	目	3	義務or任意	任意的事業
	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり		開始年度	H16	実施方法	直営
	政策	2	地域資源を活かしたまちづくり		終了年度		事業分類	参画事業
	施策	2	都市型農業の推進					
	基本事業	1	農産物の生産振興					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	需要に応じた米づくりの推進を通じて水田農業経営の安定と発展を図るため、水田の利活用の強化に取り組む佐野市農業再生協議会の活動に加わり、水田農業の構造改革を推進する。 なお、この佐野市農業再生協議会は、「経営所得安定対策」の本市における円滑な実施に事務協力する組織である。
------	--

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	主食用米の生産目標数量内に作付を抑制する。 経営所得安定対策への加入者を増加させる。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		水稻作付面積／基準水田面積	%	37.9	33.75	33.72	41.49	
		水稻作付面積／配分面積	%	76.4	76.7	76.5	92.3	
		農産物販売金額	億円	20.0	21.4	21.8	22.2	22.6

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R6年度に行なった主な活動内容)	(市の活動) 佐野市農業再生協議会に負担金の支出を行った。 (佐野市農業再生協議会の活動) 年2回の総会及び幹事会の開催、米の需給調整、経営所得安定対策等に関する事務を行った。	活動指標	単位	R4	R5	R6	
		水田農家数	戸	4,590	4,491	4,478	
		基準水田面積	ha	3,263	3,244	3,210	
		配分面積	ha	1,430	1,430	1,443	
		事業費計	千円	2,200	2,200	2,200	
		一般財源	千円	2,200	2,200	2,200	
		特定財源（国・県・他）	千円	0	0	0	
		（うち受益者負担）	千円	0	0	0	

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	需要調整等により、所得の安定化等が図られる。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質 R5とR6の比較
		水稻作付面積／基準水田面積	%	33.75	33.72	41.49	値が大きいほど良い 効果が上がった
		水稻作付面積／配分面積	%	76.7	76.5	92.3	値が大きいほど良い 効果が上がった
		農産物販売金額	億円	20.5	22.0	24.6	値が大きいほど良い 効果が上がった

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用の増減無し	※ 10万円以上の増減により判断	効果			
			効果が上がった指標数	効果が変わらない指標数	効果が下がった指標数	効果が上がった
			3指標	0指標	0指標	効果が変わらない
			指標全体	効果が上がった		

費用	費用が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	費用は下がった		
	費用の増減無し	○	

4. 次年度に向けた検討

（1）令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

国で定めた経営所得安定対策の制度内容が毎年少しづつ変更されていることに伴い、米等に関する政策も変更されている。
農業者から制度の変更など、正確かつ迅速な情報の提供を求められている。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明
現状維持

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	佐野市農業再生協議会支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	農政課	佐野市農業再生協議会支援事業		款	6	新規or継続	継続事業
	係	農政係			項	1	市単独or国県補助	国県補助事業
政策体系	体系コード	1221	名称	事業期間	目	3	義務or任意	任意的事業
	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり		開始年度	H24	実施方法	直営
	政策	2	地域資源を活かしたまちづくり		終了年度		事業分類	支援事業
	施策	2	都市型農業の推進					
	基本事業	1	農産物の生産振興					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	需要に応じた米づくりの推進を通じて水田農業経営の安定と発展を図るため、水田の利活用の強化に取り組む佐野市農業再生協議会の活動に加わり、水田農業の構造改革を推進する。 なお、この佐野市農業再生協議会は、「経営所得安定対策」の本市における円滑な実施に事務協力する組織である。
------	--

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	主食用米の生産目標数量内に作付を抑制する。 経営所得安定対策への加入者を増加させる。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		水稻作付面積／基準水田面積	%	37.9	33.75	33.72	41.49	
		水稻作付面積／配分面積	%	76.4	76.7	76.5	92.3	
		農産物販売金額	億円	20.0	21.4	21.8	22.2	22.6

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R6年度に行なった主な活動内容)	(市の活動) 佐野市農業再生協議会に補助金の支出を行った。 (佐野市農業再生協議会の活動) 年2回の総会及び幹事会の開催、米の需給調整、経営所得安定対策等に関する事務を行った。	活動指標	単位	R4	R5	R6	
		水稻農家数	戸	4,590	4,491	4,478	
		基準水田面積	ha	3,263	3,244	3,210	
		配分面積	ha	1,430	1,430	1,443	
		事業費計	千円	8,282	6,762	6,757	
		一般財源	千円	0	0	0	
		特定財源（国・県・他）	千円	8,282	6,762	6,757	
		（うち受益者負担）	千円	0	0	0	

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	需要調整等により、所得の安定化等が図られる。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質 R5とR6の比較
		水稻作付面積／基準水田面積	%	33.75	33.72	41.49	値が大きいほど良い 効果が上がった
		水稻作付面積／配分面積	%	76.7	76.5	92.3	値が大きいほど良い 効果が上がった
		農産物販売金額	億円	20.5	22.0	24.6	値が大きいほど良い 効果が上がった

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用の増減無し	※ 10万円以上の増減により判断	効果		
			効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
			3指標		
			0指標		
			0指標		
	指標全体	効果が上がった			

費用	費用が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	費用は下がった		
	費用の増減無し	○	

4. 次年度に向けた検討

（1）令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

国で定めた経営所得安定対策の制度内容が毎年少しづつ変更されていることに伴い、米等に関する政策も変更されている。 農業者から制度の変更など、正確かつ迅速な情報の提供を求められている。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組	取組説明
	現状維持

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	園芸大国とちぎづくりフル加速推進事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当あり	
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当あり

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部	予算中事業名	予算 科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	農政課	園芸大国とちぎづくりフル加速		款	6	新規or継続	継続事業
	係	農政係	推進事業		項	1	市単独or国県補助	国県補助事業
政策体系	体系コード	1221	名称	園芸大国とちぎづくりフル加速 推進事業実施要領	目	3	義務or任意	任意的事業
	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり		事業	開始年度	H28	実施方法
	政策	2	地域資源を活かしたまちづくり		期間	終了年度		直営
	施策	2	都市型農業の推進				事業分類	支援事業
	基本事業	1	農産物の生産振興					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	園芸生産拡大を目指して事業に取り組む農業団体に、収量増加に必要な施設整備に対して支援を行う。
------	--

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい 状態)	園芸農家の園芸作物の生産・販路拡大を促進し、園芸農家の経営の安定を図る。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		施設園芸・果樹栽培農家数	戸	131	131	131	131	131
		販売農家数（農林業センサス）	戸	1,015	1,015	1,015	1,015	1,015
		施設園芸取扱量	t	1,430	1,420	1,425	1,430	1,435

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R6年度に 行った主な活 動内容)	申請書予定者が資金の都合等により申請しなかったため、補助に至らなかった。	活動指標	単位	R4	R5	R6		
		受益者数	人	5	3	0		
		補助対象面積	a	114	173.3	0		
		事業費計	千円	7,509	5,163	0		
		一般財源	千円					
		特定財源（国・県・他）	千円	7,509	5,163	0		
		（うち受益者負担）	千円					

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び 定性)	施設園芸農家、果樹栽培農家が安定した経営ができている。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		施設園芸・果樹栽培農家数	戸	131	129	120	値が大きいほど良い	効果が下がった
		販売農家数（農林業センサス）	戸	1,019	1,019	1,019	値が大きいほど良い	効果は変わらない
		施設園芸取扱量	t	1,206	1,216	1,241	値が大きいほど良い	効果が上がった

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	効果 (R6とR5の 指標値増減)	効果が上がった指標数 効果は変わらない指標数 効果が下がった指標数 指標全体	1指標 1指標 1指標 効果は変わらない	※ 10万円以上の増減により判断				効果 効果が上がった 効果は変わらない 効果が下がった 費用は下がった 費用の増減無し 費用が増加した

4. 次年度に向けた検討

（1）令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

制度設計上、数名での事業実施が必要となるため、関係機関と連携し、綿密な調整を行う。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

□ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） □ 事業効果を上げるための事務改善の検討 □ 事業費の見直し検討 □ 業務時間効率化のための事務改善の検討 □ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明	事業採択に向けた調整を行う。

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	栃木県畜産協会参画事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし	
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	農政課	栃木県畜産協会参画事業		款	6	新規or継続	継続事業	
	係	農政係			項	1	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	1221	名称	栃木県畜産協会定款	目	4	義務or任意	任意的事業	
	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり		事業期間	開始年度	H13	実施方法	直営
	政策	2	地域資源を活かしたまちづくり			終了年度		事業分類	支援事業
	施策	2	都市型農業の推進						
	基本事業	1	農産物の生産振興						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	栃木県畜産協会の家畜防疫をはじめとする畜産振興事業に正会員として参画し、市内畜産業の推進を図る。
------	--

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい 状態)	家畜伝染病の発生を予防する。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		伝染病の発生件数	件	0	0	0	0	0

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R6年度に 行った主な活 動内容)	(市の活動) 栃木県畜産協会に負担金を支出した。 (栃木県畜産協会の活動) 経営指導事業として各種研修会や補助事業の実施、家畜衛生事業として予防接種ワクチンの購入費補助事業、肉畜価格の安定事業等を行った。	活動指標	単位	R4	R5	R6		
		会議等参加	回	1	1	1		
		事業費計	千円	20	20	20		
		一般財源	千円	20	20	20		
		特定財源（国・県・他）	千円	0	0	0		
		（うち受益者負担）	千円	0	0	0		

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び 定性)	目標値を維持している。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		伝染病の発生件数	件	0	0	0	値が小さいほど良い	効果は変わらない

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減） 効果 (R6とR5の 指標値増減)	費用の増減無し 効果が上がった指標数 効果は変わらない指標数 効果が下がった指標数 指標全体	効果は変わらない	※ 10万円以上の増減により判断			
			効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
			費用は下がった		○	
			費用の増減無し			

4. 次年度に向けた検討

（1）令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

目標値を維持できていることから、取組みは効果的である。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

<input type="checkbox"/> 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） <input type="checkbox"/> 事業効果を上げるための事務改善の検討 <input type="checkbox"/> 事業費の見直し検討 <input type="checkbox"/> 業務時間効率化のための事務改善の検討 <input checked="" type="checkbox"/> 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
	現状維持

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	減農薬のための性フェロモン剤導入支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	農政課	減農薬のための性フェロモン剤		款	6	新規or継続	継続事業
	係	農政係	導入支援事業		項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	1221	名称		目	3	義務or任意	任意的事業
	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり		事業期間	開始年度	H5	実施方法
	政策	2	地域資源を活かしたまちづくり			終了年度		直営
	施策	2	都市型農業の推進					事業分類
	基本事業	1	農産物の生産振興					支援事業
			交付要領					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	市内で生産される果樹の品質向上及び安定生産を図るため、性フェロモン剤の導入を支援し、減農薬による環境保全型農業を推進する。
------	---

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい 状態)	JA佐野果樹部会員（果樹生産農家）が減農薬栽培による品質の向上、安定生産、農作業の省力化を図る。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		JA佐野果樹部会農家数	戸	43	43	43	43	43
		性フェロモン剤導入農家割合	%	50	50	50	50	50
		施設園芸取扱量	t	1,430	1,420	1,425	1,430	1,435

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R6年度に 行った主な活 動内容)	(市の活動) JA佐野果樹部会に対する補助金交付手続きを行い、補助金を交付した。 (JA佐野果樹部会の活動) 会員農家に対し、性フェロモン剤導入事業（24ha）を実施した。	活動指標	単位	R4	R5	R6		
		性フェロモン剤導入農家数	戸	21	20	19		
		性フェロモン剤使用面積	a	2,500	2,400	2,400		
		性フェロモン剤使用量	本	16,280	14,680	14,880		
		事業費計	千円	300	299	295		
		一般財源	千円	300	299	295		
		特定財源（国・県・他）	千円					
		（うち受益者負担）	千円					

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び 定性)	施設園芸農家、果樹栽培農家が安定した経営ができている。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		JA佐野果樹部会農家数	戸	43	42	43	値が大きいほど良い	効果が上がった
		性フェロモン剤導入農家割合	%	50	47.6	44.2	値が大きいほど良い	効果が下がった
		施設園芸取扱量	t	1,206	1,216	1,241	値が大きいほど良い	効果が上がった

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用の増減無し	※ 10万円以上の増減により判断	効果			費用	効果		
			効果が上がった指標数	2指標			効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
			効果は変わらない指標数	0指標					
			効果が下がった指標数	1指標					
			指標全体	効果が上がった					

4. 次年度に向けた検討

（1）令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

特になし

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

取組説明	現状維持		

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	環境保全型農業直接支払事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし	
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	農政課	環境保全型農業直接支払		款	6	新規or継続	継続事業
	係	農政係	事業		項	1	市単独or国県補助	国県補助事業
政策体系	体系コード	1221	名称		目	3	義務or任意	任意的事業
	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり		事業期間	開始年度	H23	実施方法
	政策	2	地域資源を活かしたまちづくり			終了年度		直営
	施策	2	都市型農業の推進				事業分類	支援事業
	基本事業	1	農産物の生産振興					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	自然環境の保全に資する農業の生産方式を導入した農業生産活動に対して直接支援を行う。 (交付額) 10aあたり・国費6,000円、県費3,000円、市費3,000円 国費・県費分は、市費分と合わせて対象者へ交付。
------	---

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい 状態)	環境への負荷低減に取り組む農家（施設園芸農家・果樹農家を含む）が安定した経営ができている。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		有機農業対象農地	a	648	648	648	648	648
		対象団体加入農業者等数	戸	6	6	6	6	6
		事業取組農業者団体数目標	件	1	1	1	1	1
		対象農地/事業対象農業者団体の全耕作農地	%	100	100	100	100	100
		施設園芸取扱量	t	1,430	1,420	1,425	1,430	1,435

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R6年度に 行った主な活 動内容)	(市の活動) 事業実施へ向けた取組団体への指導。 補助金の交付手続きを行い、補助金を交付。 (協議会の活動) 事業実施に向けた会員同士の協議、総会開催。 事業取り組み、補助金申請、事業報告、補助金請求。	活動指標	単位	R4	R5	R6
		事業取組農業者団体数目標	件	1	1	1
		事業対象農業者団体の全耕作農地	a	648	570	449
		有機農業取組作物の種類	種類	20	16	20
		事業費計	千円	778	662	511
		一般財源	千円	195	165	128
		特定財源（国・県・他）	千円	583	497	383
		（うち受益者負担）	千円			

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び 定性)	施設園芸農家、果樹栽培農家が安定した経営ができている。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質 R5とR6の比較
		有機農業対象農地	a	648	552	426	値が大きいほど良い 効果が下がった
		対象団体加入農業者等数	戸	6	6	6	値が大きいほど良い 効果は変わらない
		事業取組農業者団体数目標	件	1	1	1	値が大きいほど良い 効果は変わらない
		対象農地/事業対象農業者団体の全耕作農地	%	100	96	94	値が大きいほど良い 効果が下がった
		施設園芸取扱量	t	1,206	1,216	1,241	値が大きいほど良い 効果が上がった

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用の増減無し	※ 10万円以上の増減により判断	効果			R5とR6の比較
	効果が上がった指標数		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
	効果は変わらない指標数					
	効果が下がった指標数					
	指標全体		効果が下がった			

4. 次年度に向けた検討

（1）令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

特になし

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明
現状維持

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	産地生産基盤パワーアップ事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	農政課	産地生産基盤パワーアップ事業		款	6	新規or継続	新規事業	
	係	農政係			項	1	市単独or国県補助	国県補助事業	
政策体系	体系コード	1221	名称	根拠法令、条例等	目	3	義務or任意	任意的事業	
	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり		事業期間	開始年度	R5	実施方法	
	政策	2	地域資源を活かしたまちづくり		期間	終了年度	－	事業分類	
	施策	2	都市型農業の推進	産地生産基盤パワーアップ事業実施要綱 産地生産基盤パワーアップ事業実施要領 産地生産基盤パワーアップ事業交付等要綱 産地生産基盤パワーアップ事業恵木県事業実施方針				支援事業	
	基本事業	1	農産物の生産振興						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	収益力強化に計画的に取り組む産地に対し、農業者等が行う高性能な機械・施設の導入や生産基盤の承継に対して総合的に支援する。
------	--

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい 状態)	農作業の効率化及び規模拡大による収益性の高い農業経営	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		事業対象農家の栽培面積	a			1,600	1,640	1,680
		施設園芸取扱量	トン			1,420	1,425	1,430

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R6年度に 行った主な活 動内容)	栽培施設の整備を支援することで、農作業効率化及び生産基盤の構築（低コスト耐候性ハウスの改修等）に資する取組を行った。	活動指標	単位	R4	R5	R6	
		打合せ会議	回		2	2	
		補助金交付手続き	式		1	2	
		事業費計	千円	0	9,342	86,920	
		一般財源	千円		0	0	
		特定財源（国・県・他）	千円		9,342	86,920	
		（うち受益者負担）	千円		0	0	

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び 定性)	施設園芸農家、果樹栽培農家が安定した経営ができる。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質 R5とR6の比較
		事業対象農家の栽培面積	a		1,600	1,640	値が大きいほど良い 効果が上がった
		施設園芸取扱量	トン		1,216	1,241	値が大きいほど良い 効果が上がった

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用の増減無し	※ 10万円以上の増減により判断	効果			
			効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
			2指標			
			0指標			
			0指標			

費用	費用は下がった	
	費用の増減無し	○
	費用が増加した	

4. 次年度に向けた検討

（1）令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

特になし

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

□ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）	取組説明
	現状維持

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	病害虫防除支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	農政課	病害虫防除支援事業		6	新規or継続	継続事業		
	係	農政係			1	市単独or国県補助	市単独事業		
政策体系	体系コード	1221	名称	稻病害虫広域集団防除事業実施要領	根拠法令、条例等	3	義務or任意	任意的事業	
	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり		事業期間	開始年度	S53	実施方法	
	政策	2	地域資源を活かしたまちづくり		終了年度			直営	
	施策	2	都市型農業の推進				事業分類	支援事業	
	基本事業	1	農産物の生産振興						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	水稻病害虫の予防・駆除のため、広域集団防除を支援する。
------	-----------------------------

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい 状態)	防除を実施することにより、水稻の安定生産と品質の向上を図る。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		反収（県南部）	kg/反	518	518	507		
		作況指数（県南部）	%	102.0	102.0	103.0		
		農産物販売金額	億円	21.0	21.4	21.8	22.2	22.6

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R6年度に 行った主な活 動内容)	(市の活動) 各協議会が実施した広域集団防除事業に対し、補助金の交付手 続きをを行い、補助金を交付した。 (広域防除協議会の活動) 無人ヘリ等による水稻広域集団防除を行った。	活動指標	単位	R4	R5	R6		
		広域防除団体数	団体	7	7	7		
		広域防除実面積	ha	996.6	983.6	948.5		
		事業費計	千円	3,000	3,000	3,000		
		一般財源	千円	3,000	3,000	3,000		
		特定財源（国・県・他）	千円					
		(うち受益者負担)	千円					

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び 定性)	広域での防除作業を実施することにより、病害虫被害を予防でき、 出荷額の増加につながる。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		反収（県南部）	kg/反	518	507	494	値が大きいほど良い	効果が下がった
		作況指数（県南部）	%	102.0	103.0	101.0	値が大きいほど良い	効果が下がった
		農産物販売金額	億円	20.0	22.0	24.6	値が大きいほど良い	効果が上がった

（4）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

費用（R6とR5の 一般財源増減）	費用の増減無し	効果指標	単位	R4	R5	R6		
		反収（県南部）	kg/反	518	507	494	値が大きいほど良い	効果が下がった
		作況指数（県南部）	%	102.0	103.0	101.0	値が大きいほど良い	効果が下がった
		農産物販売金額	億円	20.0	22.0	24.6	値が大きいほど良い	効果が上がった

（5）費用対効果結果（自動判定）

効果 (R6とR5の 指標値増減)	効果が上がった指標数 効果は変わらない指標数 効果が下がった指標数 指標全体	費用の増減無し	※ 10万円以上の増減により判断	効果				
		1指標		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった		
		0指標						
		2指標					○	
		効果が下がった						

4. 次年度に向けた検討

（1）令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

個人での防除実施は、作業負担の観点から難しく、また、昨今の環境への配慮の観点からも、一斉実施が現実的となっている。 薬剤散布に関する安全性への関心が高まり、散布する薬剤の内容、人体への影響等に関する問い合わせが、市及び事業実施主体に寄せられている。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

取組説明	
現状維持	

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	足利佐野めんめん街道推進協議会参画事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	農政課	足利佐野めんめん街道推進		款	6	新規or継続	継続事業
	係	農政係	協議会参画事業		項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	1221	名称		目	3	義務or任意	任意的事業
	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり		事業期間	開始年度	H20	実施方法
	政策	2	地域資源を活かしたまちづくり		期間	終了年度		直営
	施策	2	都市型農業の推進				事業分類	参画事業
	基本事業	1	農産物の生産振興					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	食をテーマとした新たな地域資源を発掘し、文化や景観など結び付けて栃木県のブランド化を図り、全国に発信するため、農産物や観光等の様々な産業分野の視点を活かして「食の街道」づくりを推進を目的とした協議会へ負担金を支出し、各種会議・研修会に参加し、地域活性化に取組んでいる。
------	--

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい 状態)	足利佐野めんめん街道推進協議会が自立した団体として地域の活性化を推進する。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		参加団体数	団体	49	49	49	49	49
		会議等の参加者数	人	22	22	22	22	22
		見学体験ツアーの参加者数	人	20	20	20	20	20
		農産物販売金額	億円	21.0	21.4	21.8	22.2	22.6

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R6年度に 行った主な活 動内容)	(市の活動) 足利佐野めんめん街道推進協議会に対して負担金を支払った。幹事会及び総会に参加した。他の会議は、書面決議で行った。 (協議会の活動) パンフレットの作成、PRイベントへの参加、研修会の実施等。	活動指標	単位	R4	R5	R6		
		会議等の開催	回	3	1	1		
		見学体験ツアーの実施	回	1	1	1		
		事業費計	千円	100	100	100		
		一般財源	千円	100	100	100		
		特定財源（国・県・他）	千円					
		（うち受益者負担）	千円					

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び 定性)	中山間地域が活性化されている。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		参加団体数	団体	48	48	44	値が大きいほど良い	効果が下がった
		会議等の参加者数	人	22	14	14	値が大きいほど良い	効果は変わらない
		見学体験ツアーの参加者数	人	18	32	35	値が大きいほど良い	効果が上がった
		農産物販売金額	億円	20.5	22.0	24.6	値が大きいほど良い	効果が上がった

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用の増減無し
効果（R6とR5の指標値増減）	効果が上がった指標数
	2指標
	効果は変わらない指標数
	1指標
	効果が下がった指標数
	1指標
	指標全体
	効果が上がった

※ 10万円以上の増減により判断

費用	効果		
	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	費用は下がった		
	費用の増減無し	○	
	費用が増加した		

4. 次年度に向けた検討

（1）令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

特になし

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

□ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）	取組説明
	現状維持
□ 事業効果を上げるための事務改善の検討	
□ 事業費の見直し検討	
□ 業務時間効率化のための事務改善の検討	
☑ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	農地利用効率化等支援事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当あり
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	農政課	農地利用効率化等支援事業		款	6	新規or継続	継続事業
	係	農政係			項	1	市単独or国県補助	国県補助事業
政策体系	体系コード	1221	名称	農地利用効率化等支援交付金実施要綱	目	6	義務or任意	任意的事業
	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり		事業期間	開始年度	H25	実施方法
	政策	2	地域資源を活かしたまちづくり			終了年度		直営
	施策	2	都市型農業の推進					事業分類
	基本事業	1	農産物の生産振興					支援事業

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	農業における中心経営体等が、経営規模の拡大や農産物の加工・流通・販売等の経営の多角化等に取り組む際に必要となる農業用機械や施設の導入等について支援する。
------	--

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい 状態)	中心経営体の経営規模拡大や、経営の多角化を支援する。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		規模拡大・経営の多角化をした経営体数	経営体	-	5	5	5	5

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R6年度に 行った主な活 動内容)	令和6年度 実績無し	活動指標	単位	R4	R5	R6	
		調査回数	回	1	1	3	
		確認検査回数	回	3	0	0	
		事業費計	千円	8,420	0	0	
		一般財源	千円	0	0	0	
		特定財源（国・県・他）	千円	8,420	0	0	
		（うち受益者負担）	千円	0	0	0	

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び 定性)	中心経営体が、農業用機械等を導入することにより、規模拡大・付加価値の増加ができるように貢献する。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質 R5とR6の比較
		規模拡大・経営の多角化をした経営体数	経営体	3	0	0	値が大きいほど良い 効果は変わらない

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	効果 (R6とR5の 指標値増減)	費用の増減無し	※ 10万円以上の増減により判断	効果			費用が増加した 費用が増減無し 費用は下がった
		効果が上がった指標数		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
		0指標					
		効果は変わらない指標数					
		1指標					

4. 次年度に向けた検討

（1）令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

事業の制度設計が実情と合っておらず、要望があつても申請することができなかった。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

取組説明	現状維持

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	農業用廃ビニール処理対策支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	農政課	農業用廃ビニール処理対策		款	6	新規or継続	継続事業
	係	農政係	支援事業		項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	1221	名称		目	3	義務or任意	任意的事業
	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり		事業期間	開始年度	H5	実施方法
	政策	2	地域資源を活かしたまちづくり		期間	終了年度		直営
	施策	2	都市型農業の推進				事業分類	支援事業
	基本事業	1	農産物の生産振興					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき使用済農業用生産資材（農業用廃ビニール等）の野焼き・不法投棄等不適切処理を防止し、健全な園芸产业基地の育成を図るために廃棄物の回収・再生処理を指導・支援する。もって循環型社会の実現に寄与する。
------	--

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい 状態)	農業者（施設園芸農家・果樹農家）が不法投棄・不法な野焼き等を行わないように防止し、適正処理によるごみの発生抑制と環境保全を図る。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		排出農家数（延農家数）	人	312	312	312	312	312
		廃ビニールの野焼き苦情件数	件	0	0	0	0	0
		廃ビニールの不法投棄苦情件数	件	0	0	0	0	0
		施設園芸取扱量	t	1,430	1,420	1,425	1,430	1,435

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R6年度に 行った主な活 動内容)	(市の活動) 佐野市園芸振興協議会に補助金を交付した。年2回の廃ビニール回収作業に参加。 (佐野市園芸振興協議会の活動) 農業用廃ビニールの回収を年2回（7月、11月）実施し、約66トンを回収し、業者にその後の処理を委託した。	活動指標	単位	R4	R5	R6		
		補助金交付手続	件	1	1	1		
		廃ビニール回収処理実施回数	回	2	2	2		
		廃ビニールの回収処理量	t	81	66	58		
		事業費計	千円	800	800	800		
		一般財源	千円	800	800	800		
		特定財源（国・県・他）	千円	0	0	0		
		（うち受益者負担）	千円	0	0	0		

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び 定性)	施設園芸農家、果樹栽培農家が安定した経営ができている。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		排出農家数（延農家数）	人	312	300	269	値が大きいほど良い	効果が下がった
		廃ビニールの野焼き苦情件数	件	0	0	0	値が小さいほど良い	効果は変わらない
		廃ビニールの不法投棄苦情件数	件	0	0	0	値が小さいほど良い	効果は変わらない
		施設園芸取扱量	t	1,206	1,216	1,241	値が大きいほど良い	効果が上がった

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用の増減無し	※ 10万円以上の増減により判断	効果			↓選択して下さい
	効果が上がった指標数		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
	効果は変わらない指標数		費用は下がった			
	効果が下がった指標数		費用の増減無し	○		
指標全体			費用が増加した			

4. 次年度に向けた検討

（1）令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

特になし

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

取組説明	現状維持
------	------

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	佐野市生活研究グループ協議会支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし	
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	農政課	佐野市生活研究グループ協議会支援事業		款	6	新規or継続	継続事業
	係	農政係	根拠法令、条例等		項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	1222	名称		目	2	義務or任意	任意的事業
	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり		事業期間	開始年度	S40	実施方法
	政策	2	地域資源を活かしたまちづくり		期間	終了年度		事業分類
	施策	2	都市型農業の推進					支援事業
	基本事業	2	農業の担い手の育成・確保					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	会員相互の連絡調整を図り、会員個々の資質及び生活の向上と地域の活性化を推進するため、補助金を支出すると同時に、農政課が事務局として活動の支援をしていく。（佐野市生活研究グループ協議会：農村生活研究活動の発展及び地域の活性化を推進することを目的として活動する団体。令和6年度は7グループ34名で組織されている。）
------	---

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい 状態)	農村地域の生活改善等に関する研究活動を行い、農村生活の向上を図る。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		会員による加工販売団体数	団体	6	6	6	6	6
		会員のうち、女性農業士、農業委員数	人	4	4	5	6	7

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R6年度に 行った主な活 動内容)	(協議会の主な事業) 役員・単位会長会議開催（4/23、6/11、8/7、10/2、11/27、2/14） 先進地視察研修（10/22） 食育紙芝居講座（7/29、9/30、8/5、8/6） 食育講座（8/22） 天明小学校耳うどん作り講座（12/18、12/19） しめ縄作り講座（12/24） さのまる地産地消プロジェクト（1/16、1/30） 米消費拡大講習会（1/21） 足利中央特別支援学校耳うどん作り講座（2/13）	活動指標	単位	R4	R5	R6
	協議会主催の事業・役員会等	回	9	13	18	
	県・市への事業等協力	回	5	6	6	
	事業費計	千円	0	220	220	
	一般財源	千円	0	220	220	
	特定財源（国・県・他）	千円	0	0	0	
	（うち受益者負担）	千円	0	0	0	

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

↓選択して下さい

効果説明 (定量及び 定性)	男女が共に積極的に参画し、いきいきと活動できる社会の実現と、豊かで活力のある地域になる。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質 R5とR6の比較
		会員による加工販売団体数	団体	5	3	3	値が大きいほど良い 効果は変わらない
		会員のうち、女性農業士、農業委員数	人	4	3	3	値が大きいほど良い 効果は変わらない

（3）活動による効果

（4）事業効果を説明する数値データの推移

（5）費用対効果結果（自動判定）	※ 10万円以上の増減により判断	効果指標	単位	R4	R5	R6	効果
		会員による加工販売団体数	団体	5	3	3	効果が上がった 効果は変わらない 効果が下がった
		会員のうち、女性農業士、農業委員数	人	4	3	3	値が大きいほど良い 効果は変わらない

（5）費用対効果結果（自動判定）

効果 (R6とR5の 指標値増減)	費用（R6とR5の一般財源増減）	費用の増減無し	効果
		0指標	効果が上がった 効果は変わらない 効果が下がった
		2指標	
		0指標	

費用	費用は下がった	
	費用の増減無し	○
	費用が増加した	

4. 次年度に向けた検討

（1）令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

高齢化により、活動に参加することが難しくなり、会員を辞める方がいる。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

取組説明
活動しやすい事業内容を考えるとともに、会員拡大に向け、活動の周知を図る。

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	佐野市農業士会支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし	
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	農政課	佐野市農業士会支援事業		款	6	新規or継続	継続事業	
	係	農政係			項	1	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	1222	名称		目	2	義務or任意	任意的事業	
	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり		事業期間	開始年度	S49	実施方法	
	政策	2	地域資源を活かしたまちづくり		期間	終了年度		直営	
	施策	2	都市型農業の推進					事業分類	
	基本事業	2	農業の担い手の育成・確保					支援事業	

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	農業後継者の育成指導及び地域農業の振興のための指導・助言を行う佐野市農業士会の活動を支援する。
------	---

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい 状態)	農業士・女性農業士を増やすことにより、新規就農者や担い手の育成を図る。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		農業士	人	7	5	5	7	8
		女性農業士	人	5	5	4	5	6

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R6年度に 行った主な活 動内容)	総会(7/3) 講演会(2/9)の開催	活動指標	単位	R4	R5	R6	
		総会出席農業士数	人	9	8	9	
		事業出席農業士数	人	9	3	0	
		事業費計	千円	20	20	20	
		一般財源	千円	20	20	20	
		特定財源（国・県・他）	千円				
		(うち受益者負担)	千円				

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

↓選択して下さい

効果説明 (定量及び 定性)	農業士、女性農業士の数を増加し、佐野市農業士会の活動を活性化	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		農業士	人	5	5	5	値が大きいほど良い	効果は変わらない
		女性農業士	人	4	4	4	値が大きいほど良い	効果は変わらない

（3）活動による効果

（4）事業効果を説明する数値データの推移

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用の増減無し	※ 10万円以上の増減により判断	効果	効果が上がった指標数	0指標		効果	効果が上がった
				効果は変わらない指標数	2指標		効果は変わらない	
				効果が下がった指標数	0指標			
				指標全体	効果は変わらない			

費用	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	費用は下がった		
	費用の増減無し	○	

（5）費用対効果結果（自動判定）

効果 (R6とR5の 指標値増減)	費用の増減無し
	効果が上がった指標数
	効果は変わらない指標数
	効果が下がった指標数

4. 次年度に向けた検討

（1）令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

農業士、女性農業士の基準を満たすことが難しく、また、県農業士会や安足地区農業士会の会費を徴求され、ボランティアでの活動が多いことから、推薦にまで至らず、辞退されるケースが見受けられる。
--

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明
農業士、女性農業士となられても、なるべく、日中の奉仕活動がなくて済むようにしていく等、機会がある毎に、県や県事務所に伝えていく。

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	佐野市農業後継者結婚推進協議会支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	農業委員会事務局	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	農業委員会事務局	佐野市農業後継者結婚推進協議会支援事業		款	6	新規or継続	継続事業
	係	農地調整係	根拠法令、条例等		項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	1222	名称		目	1	義務or任意	任意的事業
	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり		事業期間	開始年度	S55	実施方法
	政策	2	地域資源を活かしたまちづくり			終了年度	R6	事業分類
	施策	2	都市型農業の推進					支援事業
	基本事業	2	農業の担い手の育成・確保					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	農業後継者の結婚相談に応じ、結婚の成立を援助することにより、農業後継者の生活の安定・向上の推進を目的とする団体である佐野市農業後継者結婚推進協議会の支援。
------	---

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい 状態)	農業後継者結婚推進協議会が行う事業を円滑に進めることで、結婚の成立を援助する。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		ふれあいパーティー参加者数	人	20	20	20	20	-
		カップル成立組数	組	4	2	2	2	-

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R6年度に 行った主な活 動内容)	【市の活動】 佐野市農業後継者結婚推進協議会の実施する事業を支援。 【佐野市農業後継者結婚推進協議会の活動】 総会等会議を実施し、前年度までの農業後継者ふれあいパーティーへの参加者減を踏まえ、事業の実施等今後の在り方を協議し、農業後継者ふれあいパーティーを開催しないこととなつた。	活動指標	単位	R4	R5	R6		
		補助団体の相談員活動数	人	12	11	8		
		補助団体の活動の申込者数	人	-	11	-		
		事業費計	千円	0	150	0		
		一般財源	千円	0	150	0		
		特定財源（国・県・他）	千円					
		（うち受益者負担）	千円					

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び 定性)	令和6年度、農業後継者ふれあいパーティーを実施しなかった。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		ふれあいパーティー参加者数	人	0	11	-	値が大きいほど良い	効果が下がった
		カップル成立組数	組	0	1	-	値が大きいほど良い	効果が下がった

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用は下がった	※ 10万円以上の増減により判断	効果				
			効果が上がった指標数	0指標		効果が上がった	効果が変わらない
			効果は変わらない指標数	0指標		効果が変わらない	効果が下がった
			効果が下がった指標数	2指標		効果が下がった	
			指標全体	効果が下がった			

4. 次年度に向けた検討

（1）令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

協議会内において協議会は一定の役割を終えたとの意見があり、また、令和7年度よりこども政策課において婚活イベント開催事業が予定されていることから、農業後継者結婚推進協議会への支援は令和7年度は行わないこととした。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

取組説明	協議会への支援事業は廃止とし、佐野市農業後継者結婚推進協議会の今後の存続について、協議会へ検討を促す。		

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	佐野市青少年クラブ協議会支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部	予算中事業名	予算 科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	農政課	佐野市青少年クラブ協議会		款	6	新規or継続	継続事業
	係	農政係	支援事業		項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	1222	名称	根拠法令、条例等	目	2	義務or任意	任意的事業
	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり		事業	開始年度	H 4	実施方法
	政策	2	地域資源を活かしたまちづくり		期間	終了年度		直営
	施策	2	都市型農業の推進				事業分類	支援事業
	基本事業	2	農業の担い手の育成・確保					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	地域の仲間と幅広い情報や意見交換、農業経営などに関する知識・技術向上、消費者との交流を図るとともに、地域農業の発展に寄与できる農業後継者を育成することを目的とする青年農業者(9名)で組織する佐野市青少年クラブ協議会に運営の補助金を交付する。
------	--

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい 状態)	佐野市青少年クラブ協議会の会員が農業経営に関する知識・技術の向上や情報交換、相互交流、連携等を通じて、地域の指導的な農業者となるよう支援する。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		協議会会員	人	9	9	9	9	9
		会員中、認定農業者となった人数	人	3	2	3	3	3
		会員中、認定新規農業者となった人数	人	2	2	2	2	2
		担い手への農地集積	ha	1,190	1,700	1,720	1,740	1,760

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R6年度に 行った主な活 動内容)	補助金 55千円 協議会の主な事業 市内中学校への営農指導等	活動指標	単位	R4	R5	R6	
		会議開催回数	回	12	10	9	
		事業費計	千円	55	55	55	
		一般財源	千円	55	55	55	
		特定財源（国・県・他）	千円	0	0	0	
		(うち受益者負担)	千円	0	0	0	

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び 定性)	認定農業者等、地域担い手として、農地の集積に積極的に取り組んでもらう。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質 R5とR6の比較
		協議会会員	人	8	9	9	値が大きいほど良い 効果は変わらない
		会員中、認定農業者となった人数	人	3	4	1	値が大きいほど良い 効果が下がった
		会員中、認定新規農業者となった人数	人	2	2	0	値が大きいほど良い 効果が下がった
		担い手への農地集積	ha	1,688	1,648	1,753	値が大きいほど良い 効果が上がった

（5）費用対効果結果（自動判定）

効果 (R6とR5の 指標値増減)	費用（R6とR5の一般財源増減）	費用の増減無し	※ 10万円以上の増減により判断	効果			
		効果が上がった指標数		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
		1指標					
		効果は変わらない指標数					
		1指標					
効果 (R6とR5の 指標値増減)	効果が下がった指標数	2指標					
		指標全体		○			
効果 (R6とR5の 指標値増減)	費用の増減無し	効果が下がった					

4. 次年度に向けた検討

（1）令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

特になし

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

取組説明	現状維持

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	園芸新規就農者研修受入支援事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当あり	
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当あり

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部	予算中事業名	予算 科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	農政課	園芸新規就農者研修受入		款	6	新規or継続	継続事業
	係	農政係	支援事業		項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	1222	名称	事業 期間	目	3	義務or任意	任意的事業
	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり		開始年度	H26	実施方法	直営
	政策	2	地域資源を活かしたまちづくり		終了年度		事業分類	支援事業
	施策	2	都市型農業の推進					
	基本事業	2	農業の担い手の育成・確保					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	新規就農者が就農後安定した経営を持続させるためには、実地研修を通じた経験・技術等の習得が重要であるため、新規就農希望者の研修受入農家を支援することで、新規就農者の受け入れ態勢の拡充整備を図る。
------	--

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい 状態)	新規就農者の研修受入農家に対して、研修に係る費用の一部を市とJAが負担することで、新規就農希望者を受け入れやすくする。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		受入農家	戸	2	1	2	2	2
		新規就農希望者研修生数	人	2	2	2	2	2
		新規就農者数	人	18	14	16	18	20

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R6年度に 行った主な活 動内容)	研修生0名で、支援を行うことができなかった。	活動指標	単位	R4	R5	R6
		連絡会議	回	5	0	0
		事業費計	千円	180	0	0
		一般財源	千円	180	0	0
		特定財源（国・県・他）	千円	0	0	0
		（うち受益者負担）	千円	0	0	0

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

↓選択して下さい

効果説明 (定量及び 定性)	新規就農者の確保になっている。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		受入農家	戸	1	0	0	値が大きいほど良い	効果は変わらない
		新規就農希望者研修生数	人	1	0	0	値が大きいほど良い	効果は変わらない
		新規就農者数	人	6	26	6	値が大きいほど良い	効果が下がった

（3）活動による効果

（4）事業効果を説明する数値データの推移

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用の増減無し	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		受入農家	戸	1	0	0	値が大きいほど良い	効果は変わらない
		新規就農希望者研修生数	人	1	0	0	値が大きいほど良い	効果は変わらない
		新規就農者数	人	6	26	6	値が大きいほど良い	効果が下がった

（5）費用対効果結果（自動判定）

効果 (R6とR5の 指標値増減)	効果は変わらない	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		効果が上がった指標数	0指標				効果が上がった	
		効果は変わらない指標数	2指標				効果は変わらない	
		効果が下がった指標数	1指標				効果が下がった	
		指標全体	効果は変わらない					

4. 次年度に向けた検討

（1）令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

研修生0名であったため、園芸新規就農研修受入支援事業の周知を積極的に行う必要がある。
--

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

取組説明
関係機関と連携し、受け入れ態勢の整備と共に、周知を図る。

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	安足地方農業振興協議会参画事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	農政課	安足地方農業振興協議会		款	6	新規or継続	継続事業
	係	農政係	参画事業		項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	1222	名称	なし	目	2	義務or任意	任意的事業
	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり		事業期間	開始年度	H13	実施方法
	政策	2	地域資源を活かしたまちづくり		期間	終了年度		一部委託
	施策	2	都市型農業の推進				事業分類	参画事業
	基本事業	2	農業の担い手の育成・確保					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	安足地域における農業・農村の持続的発展を目指し、安足地域農業振興計画の推進をはじめとする農政対策などの各種事業を実施する安足地方農業振興協議会への負担金
------	--

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい 状態)	安足地域農業振興計画（風は南南西）を推進し、新規就農者の増加・担い手の経営面積の増加を目指す。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		計画プロジェクト数	件	3	3	3	3	3
		新規就農者数	人	18	14	16	18	20

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R6年度に 行った主な活 動内容)	(市の活動) 負担金の支出206千円、年2回の会議出席 (協議会の活動) ・農政対策・水田農業改革推進対策・農作物高付加価値化、ブ ランド化対策 ・農地の集積、集約化対策・組織育成対策・営農技術対策 ・地域振興対策 ・食と農の理解の促進・農作物の安全、安心対策	活動指標	単位	R4	R5	R6	
		会議参加回数	回	2	2	2	
		事業費計	千円	206	206	206	
		一般財源	千円	206	206	206	
		特定財源（国・県・他）	千円	0	0	0	
		（うち受益者負担）	千円	0	0	0	

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び 定性)	新規就農者の増加・担い手の経営面積の増加	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質 R5とR6の比較
		計画プロジェクト数	件	3	3	3	値が大きいほど良い 効果は変わらない
		新規就農者数	人	6	26	18	値が大きいほど良い 効果が下がった

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用の増減無し	※ 10万円以上の増減により判断	効果			R5とR6の比較
			効果が上がった指標数	効果が変わらない指標数	効果が下がった指標数	
			0指標			
			1指標			
			1指標			

費用	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	費用は下がった		
	費用の増減無し		○

4. 次年度に向けた検討

（1）令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

取組効果が上がったことから、取組は効果的である。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

取組説明	現状維持	現状維持

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	農業人材育成総合対策事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当あり	
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当あり

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部	予算中事業名	予算 科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	農政課	農業人材育成総合対策		款	6	新規or継続	継続事業
	係	農政係	事業		項	1	市単独or国県補助	国県補助事業
政策体系	体系コード	1222	名称	農業人材強化総合支援 事業実施要綱	根拠法令、条例等	目	6	義務or任意
	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり		事業	開始年度	H24	任意的事業
	政策	2	地域資源を活かしたまちづくり		期間	終了年度		直営
	施策	2	都市型農業の推進				事業分類	支援事業
	基本事業	2	農業の担い手の育成・確保					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	青年等の就農意欲の喚起と就農後の定着を図るため、青年等新規就農者・経営継承者に対して、経営発展のための機械・施設の導入のための資金、または経営が不安定な就農開始直後の所得を確保する資金として、あるいは両方を交付する。
------	--

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい 状態)	就農意欲の喚起と就農後の定着を促進する。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		交付対象者	人	4	6	6	6	6

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R6年度に 行った主な活 動内容)	経営開始資金 @1,500,000円×2人 = 3,000,000円 経営開始型（継続分）@706,822円×1人 = 706,822円 合計 3,706,822円	活動指標	単位	R4	R5	R6	
		就農状況報告の回数	回	2	2	2	
		事業費計	千円	13,649	7,874	3,707	
		一般財源	千円	0	0	0	
		特定財源（国・県・他）	千円	13,649	7,874	3,707	
		（うち受益者負担）	千円	0	0	0	

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び 定性)	担い手が確保・育成され、認定農業者・農業生産法人に積極的に利用集積を行ってもらう。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質 R5とR6の比較
		交付対象者	人	6	3	3	値が大きいほど良い 効果は変わらない

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	効果 (R6とR5の 指標値増減)	費用の増減無し	※ 10万円以上の増減により判断				効果 効果が上がった 効果は変わらない 効果が下がった 費用は下がった 費用の増減無し 費用が増加した
		0指標					
		1指標					
		0指標	○				
		効果は変わらない					

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

利用者から制度内容が複雑であるとの声がある。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

取組説明
現状維持

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	農業制度資金利子補給事業		実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
				施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	農政課	農業制度資金利子補給事業		款	6	新規or継続	継続事業	
	係	農政係			項	1	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	1222	名称		目	2	義務or任意	任意的事業	
	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり	佐野市農業経営近代化資金利子補給条例	事業期間	開始年度	S 3 8	実施方法	
	政策	2	地域資源を活かしたまちづくり		終了年度		事業分類	直営	
	施策	2	都市型農業の推進					融資・貸与事業	
	基本事業	2	農業の担い手の育成・確保						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	農業経営の近代化推進に必要な資金を借り受けた農業者が負担する利子の一部を補給することにより、農業経営の安定向上と農業構造改善に資する。
------	---

（2）目的

（3）目標値

目的 (本事業によって成し遂げたい 状態)	農家に対して、農業用設備の導入等による農業経営の改善を図るとともに、農業者の負担の軽減を図る。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		市内農家戸数（農センサス）	戸	2,225	2,225	2,225	2,225	2,225
		設備を導入した農家数目標（受付件数）	戸	5	5	5	5	5
		農産物販売金額	億円	21.0	21.4	21.8	22.2	22.6

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R6年度に 行った主な活 動内容)	農業経営近代化資金の貸付利子の補給（2%以内を実施）。 R6年度利子補給実績は無し。	活動指標	単位	R4	R5	R6
		利子補給を行った農家	戸	0	0	0
		農業制度資金利子補給額	千円	0	0	0
		事業費計	千円	0	0	0
		一般財源	千円	0	0	0
		特定財源（国・県・他）	千円	0	0	0
		（うち受益者負担）	千円	0	0	0

（3）活動による効果

（4）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

効果説明 (定量及び 定性)	農家の農産物の出荷額が増え農業所得が向上する。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質 R5とR6の比較
		市内農家戸数（農センサス）	戸	2,222	2,222	2,222	値が大きいほど良い 効果は変わらない
		設備を導入した農家数目標（受付件数）	戸	5	0	2	値が大きいほど良い 効果が上がった
		農産物販売金額	億円	20.5	22.0	24.6	値が大きいほど良い 効果が上がった

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用の増減無し
効果（R6とR5の指標値増減）	効果が上がった指標数
	2指標
	効果は変わらない指標数
	1指標
	効果が下がった指標数
	0指標
指標全体	効果が上がった

※ 10万円以上の増減により判断

効果			
費用	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用は下がった			
費用の増減無し	○		
費用が増加した			

4. 次年度に向けた検討

（1）令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

特になし

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明
現状維持

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	農業振興地域整備促進事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	農政課	農業振興地域整備促進事業		款	6	新規or継続	継続事業	
	係	農政係			項	1	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	1222	名称	農業振興地域の整備に関する法律	目	6	義務or任意	義務的事業	
	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり		事業期間	開始年度	S46	実施方法	
	政策	2	地域資源を活かしたまちづくり		期間	終了年度		直営	
	施策	2	都市型農業の推進				事業分類	その他市民に対する事業	
	基本事業	2	農業の担い手の育成・確保						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	農業振興地域の整備に関する法律に基づいて作成した農業振興地域整備計画を策定、推進する。本事業で、通年の取組みとして農用利利用計画の管理を行っている。
------	--

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい 状態)	農業健全な発展と国土資源の合理的な利用の計画的な推進 耕作放棄地の解消等	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		農業振興地域内の農用利区域の割合	%	35.8	35.8	35.8	35.8	35.8
		計画の変更申出に対して変更した割合	%	100	100	100	100	100

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R6年度に 行った主な活 動内容)	・農用地利用計画の変更を行った。 ・農業振興地域整備促進協議会を開催した。 ・窓口における農用地の確認、農用地証明の発行、農用地区域からの除外の相談を行った。 ・関係課から、開発等による影響等の照会に対し、回答を行った。 ・本市整備計画書の見直しに着手した。	活動指標	単位	R4	R5	R6	
		除外等の申し出処理件数	件	4	7	5	
		変更の申し出処理件数	件	2	3	2	
		協議会の開催回数	回	2	3	3	
		事業費計	千円	35	70	85	
		一般財源	千円	14	47	68	
		特定財源（国・県・他）	千円	21	23	17	
		（うち受益者負担）	千円	21	23	17	

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び 定性)	・農用地区域の管理 ・農地の保全	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質 R5とR6の比較
		農業振興地域内の農用利区域の割合	%	35.8	35.8	35.8	値が大きいほど良い 効果は変わらない
		計画の変更申出に対して変更した割合	%	100	100	100	値が大きいほど良い 効果は変わらない

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	効果（R6とR5の指標値増減）	費用の増減無し	※ 10万円以上の増減により判断	効果			費用（R6とR5の指標値増減）
		0指標		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
		2指標					
		0指標					
		効果は変わらない					

4. 次年度に向けた検討

（1）令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

特になし

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

<input type="checkbox"/> 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） <input type="checkbox"/> 事業効果を上げるための事務改善の検討 <input type="checkbox"/> 事業費の見直し検討 <input type="checkbox"/> 業務時間効率化のための事務改善の検討 <input checked="" type="checkbox"/> 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明	現状維持

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	農業経営基盤強化促進事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし	
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	農政課	農業経営基盤強化促進事業		款	6	新規or継続	継続事業	
	係	農政係			項	1	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	1222	名称	農業経営基盤強化促進法	目	6	義務or任意	義務的事業	
	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり		事業期間	開始年度	H5	実施方法	
	政策	2	地域資源を活かしたまちづくり			終了年度		直営	
	施策	2	都市型農業の推進					事業分類	
	基本事業	2	農業の担い手の育成・確保					その他市民に対する事業	

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	新規認定や、認定の更新等、農業経営改善計画の認定を支援することで、農業経営基盤の強化を促進する。
------	--

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい 状態)	担い手の育成を図る。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		認定農業者数	経営体	240	240	240	240	240

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R6年度に 行った主な活 動内容)	・農業経営改善計画認定申請の相談 ・農業経営改善計画認定事前指導会の開催 ・農業経営改善計画認定に伴う関係機関への意見照会 ・農業経営改善計画認定書の交付	活動指標	単位	R4	R5	R6		
		事前指導会の開催	回	3	3	3		
		関係機関への意見照会	回	3	3	4		
		計画の認定件数	件	41	36	51		
		事業費計	千円	0	6	5		
		一般財源	千円	0	6	5		
		特定財源（国・県・他）	千円	0	0	0		
		(うち受益者負担)	千円	0	0	0		

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び 定性)	担い手へ農地の利用集積を図る。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	↓選択して下さい
		認定農業者数	経営体	235	240	239	値が大きいほど良い	効果が下がった

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用の増減無し	※ 10万円以上の増減により判断	効果			費用	
	効果が上がった指標数		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった		
	0指標						
	効果は変わらない指標数						
	0指標						
効果 (R6とR5の 指標値増減)	効果が下がった指標数		費用は下がった			費用	
	1指標						
指標全体			○				
効果が下がった							
費用が増加した							

4. 次年度に向けた検討

（1）令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

認定農業者になつてもメリットがないという意見を頂いている。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）	取組説明
	現状維持
事業効果を上げるための事務改善の検討	
事業費の見直し検討	
業務時間効率化のための事務改善の検討	
特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	農業者年金業務推進事務	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	農業委員会事務局	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	農業委員会事務局	農業者年金業務推進事務		款	6	新規or継続	継続事業	
	係	農地調整係			項	1	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	1222	名称	独立行政法人農業者年金基金法	目	1	義務or任意	義務的事業	
	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり		事業期間	開始年度	S29	実施方法	
	政策	2	地域資源を活かしたまちづくり		期間	終了年度	－	事業分類	
	施策	2	都市型農業の推進					その他市民に対する事業	
	基本事業	2	農業の担い手の育成・確保						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	「独立行政法人農業者年金基金法」に基づく、農業者年金基金との業務委託契約による事務である。平成14年1月1日より旧制度が廃止となり新制度が開始されたが、旧制度に基づく事務も継続しているため、両制度の事務を実施している。
------	---

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい 状態)	農業従事者の新規加入の促進を図ると共に、加入者が確実に年金が受けられるように指導する。更に、加入者がメリットのある受給額の多い経営移譲年金が受けられるように指導する。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		加入者数(被保険者数)	人	32	32	32	32	32

（3）目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R6年度に 行った主な活 動内容)	・農業者年金各種届出等処理事務 ・農業者年金加入推進員との新規加入促進のための戸別訪問の実施	活動指標	単位	R4	R5	R6		
		処理件数	人	45	28	30		
		戸別訪問件数	人	15	21	12		
		事業費計	千円	13	66	7		
		一般財源	千円	0	0	0		
		特定財源（国・県・他）	千円	13	66	7		
		(うち受益者負担)	千円					

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

↓選択して下さい

効果説明 (定量及び 定性)	加入推進委員との戸別訪問や農業委員会だより等でのPRにより、制度の周知が図られた。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		加入者数(被保険者数)	人	29	31	31	値が大きいほど良い	効果は変わらない

（3）活動による効果

（4）事業効果を説明する数値データの推移

効果説明 (定量及び 定性)	加入推進委員との戸別訪問や農業委員会だより等でのPRにより、制度の周知が図られた。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		加入者数(被保険者数)	人	29	31	31	値が大きいほど良い	効果は変わらない

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用 (R6とR5の 一般財源増減)	費用の増減無し	※ 10万円以上の増減により判断	効果						
			効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった				
			0指標						
			1指標						
			0指標						
指標全体			効果は変わらない						

4. 次年度に向けた検討

（1）令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

戸別訪問やチラシ等により制度の周知に努めたが、加入者増に結びつかなかった。全国的な新規加入者の減少という状況の中で、農業者年金基金では若い農業者や女性農業者を重点対象者とした働きかけを勧奨している。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

取組説明	引き続き、戸別訪問やチラシ等により制度の周知に努めるにあたって、若い農業者や女性農業者を重点対象者として、加入促進を図る。		

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）